



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和6年12月13日

第49号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

学校運営委員会主催の防災教室を開催！

～北翔大学と連携した文京台小CSの取組～

11月9日（土）に文京台小の学校運営委員会が主催する「親子で学ぶ防災教室」が開催されました。北翔大学教育文化学部教育学科の横山 光 教授と2名の学生の方々が講師となり、文京台小の児童、保護者、学校運営委員等の地域住民の方々、約30名が参加しました。講話を聴いたり、ゲームをしたり、防災食を作って食べたりする中で、親子や地域の方々と一緒に防災について学びました。

初めに、「自然災害って何？」のテーマで横山教授の講話を聴きました。日本各地で発生した洪水や土砂崩れ、地震等による被害の状況を知り、江別市や文京台地区で発生の可能性のある災害を考えました。また、地震等の自然災害に対してどんな備えをしておくとういことを考え、実際に地震が発生した場合の対処の仕方も学びました。途中でクイズ等があり、正解するとポイントがグループに与えられる等、楽しい工夫がされていました。

講話の後は、グループに分かれて「防災ゲーム」を行いました。「お家から避難所に行ってみよう」という課題で、たくさんの物品等のイラストが描かれたカードの中から、必要だと思うものを親子や地域の方と一緒に選びました。選ぶ中で自然と対話が生まれ、協力しようとする気持ちも生まれてきたようです。選んだ物品のカードが後で必要となった場合は、ポイントが加算されることも、その後の活動の意欲につながっていました。

次に、体育館上に置かれた平均台やマット、紅白玉等を災害時の障害物に見立て、怪我をした人を避難所まで安全に運び、一緒に避難する体験活動を行いました。速く避難できたグループからポイントが与えられるので、メンバーで協力しながら行動することが必要となります。障害物を除けたり、けが人を抱えて運んだり等、どのグループも一生懸命に取り組みました。

最後に、防災食の試食体験を行いました。主食はアルファ化米を使用した「ひじきご飯」や「ドライカレー」で、その他に「豚汁」や「スープ」を横山教授が用意してくれました。どれもお湯があれば調理できるので、簡単につくることができます。グループごとに会話しながら楽しく食べることができました。

活動のまとめでは、家庭で備蓄する「ローリングストック」の必要性や普段から歩いて地域を知ることの大切さについてのお話がありました。いつ起こるかわからない自然災害に備えて、平時からできる対策を行い、発生した際には「自助・共助・公助」の取組が不可欠になっていくことを、親子や地域の方が一緒に学ぶことができた有意義な防災学習と



避難所に持っていくものを相談



グループでポイントをゲット



みんなで協力して避難する



防災食を食べました！



放課後児童館との連携



夏祭りに大学生が参加

なりました。

文京台小 CS では、学校運営委員会での熟議を経て、学校の夏祭りに北翔大の学生がボランティアとして参加したり、放課後児童館との交流を行ったり、漢字検定への参加を地域にも呼びかけたり等、工夫して「地域とともにある学校づくり」を進めています。

小中の教職員が集い、共通理解を深める ～江別市教育研究会の小中ブロック研究会～

11月19日（火）～25日（月）に今年度の江教研小中ブロック研究会が各中学校区で開催されました。授業を参観して会場校の授業改善の取組や子どもたちの様子を知り、その後の協議では、教科部会や課題部会、全体会等を通じて教科の系統性や重点事項を検討したり、これまでの取組の評価や今後の取組について確認したりしました。

また、第一中学校区と第三中学校区は、第一小学校の卒業生が2つの中学校へ進学するため、中学校区同士の共通理解を図る必要があることから、今回初めて合同で小中ブロック研究会を開催しました。

小中ブロック研究会は、小中一貫教育の本格導入の前年にあたる令和4年度から各校の小中一貫教育担当者が中心となって企画・運営等を行っており、取組の中間評価や次年度に向けた計画等の話し合いが活発に行われるようになりました。小学校と中学校の教職員が、「目指す子ども像」である「15歳の春の姿」を共通のゴールとしてイメージしつつ、学習指導や生徒指導に関する交流が進められています。



第二中学校区全体会議（第二小）



江陽中学校区理科部会（江陽中）



大麻東中学校区授業参観（大麻泉小）



第一・第三中合同数学部会（第一小）



大麻中学校区授業向上推進部（大麻小）

野幌中学校区制服リサイクルの取組

～CS や PTA が連携した取組へ～

10月16日（水）に行われた野幌中学校区の合同 CS の熟議で話題となった制服リサイクルの取組が、11月9日（土）に野幌中学校を会場として実際に行われました。これまで取り組まれていた実践の中にも、小中一貫教育の視点で価値づけを行うことで、小中の連携・協働の重要性の意識化を図ることができます。



制服リサイクルの様子